

図 21. 陸上でのバイブロサイズによるショット記録 (VP1504)

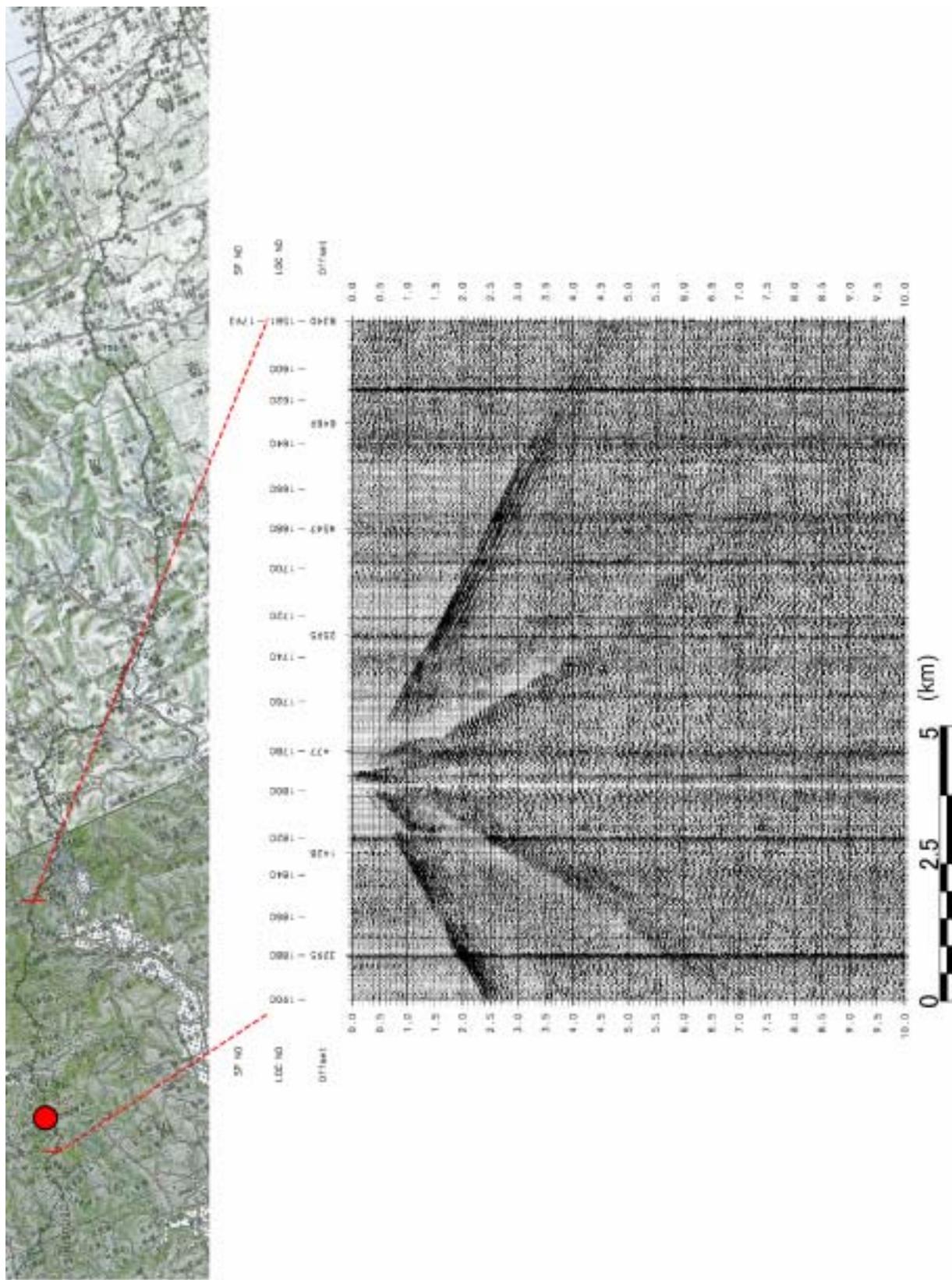


図 22. 陸上でのバイブロサイズによるショット記録 (VP1793)

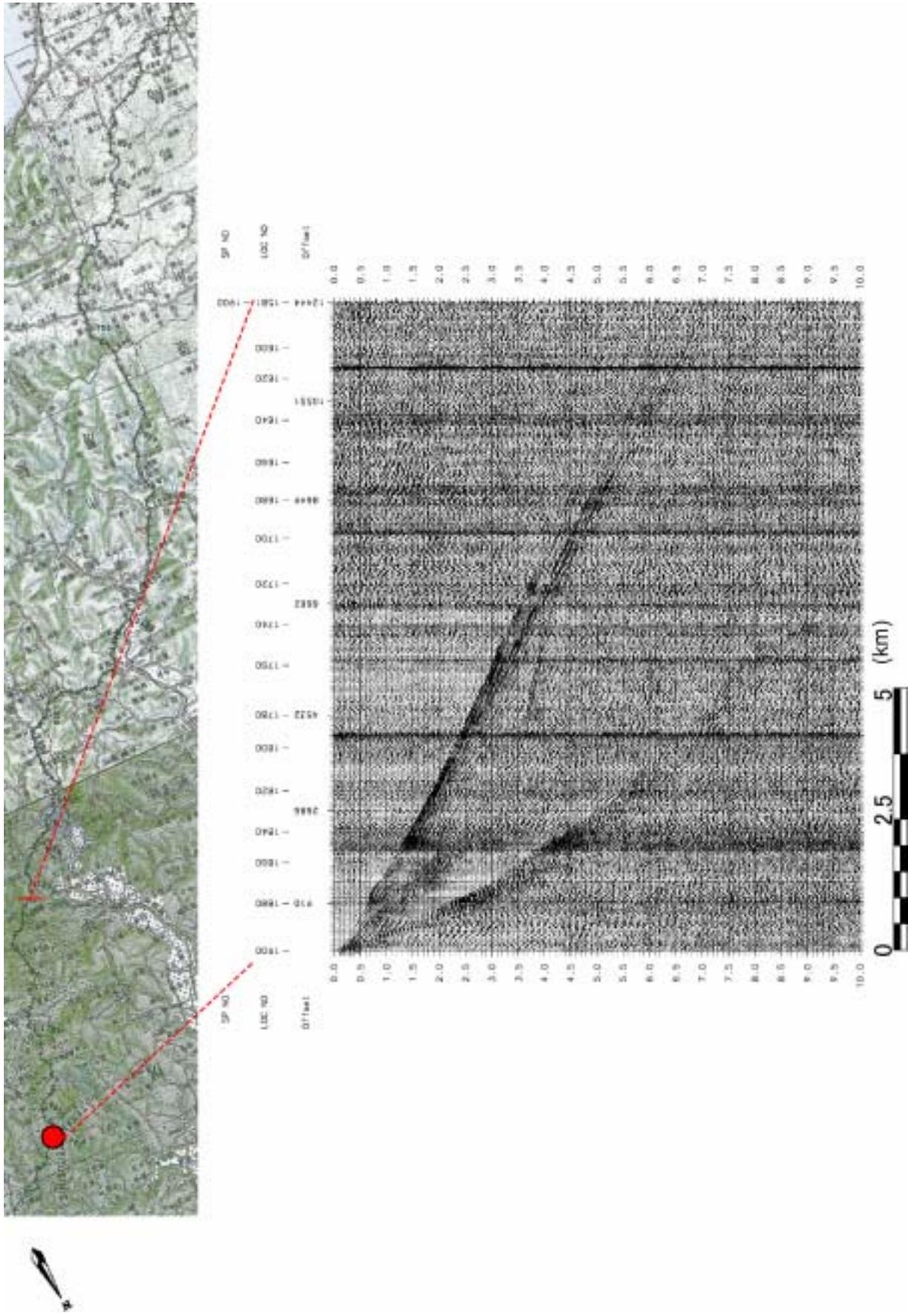


図 23. 陸上でのバイプロサイズによるショット記録 (VP1900)

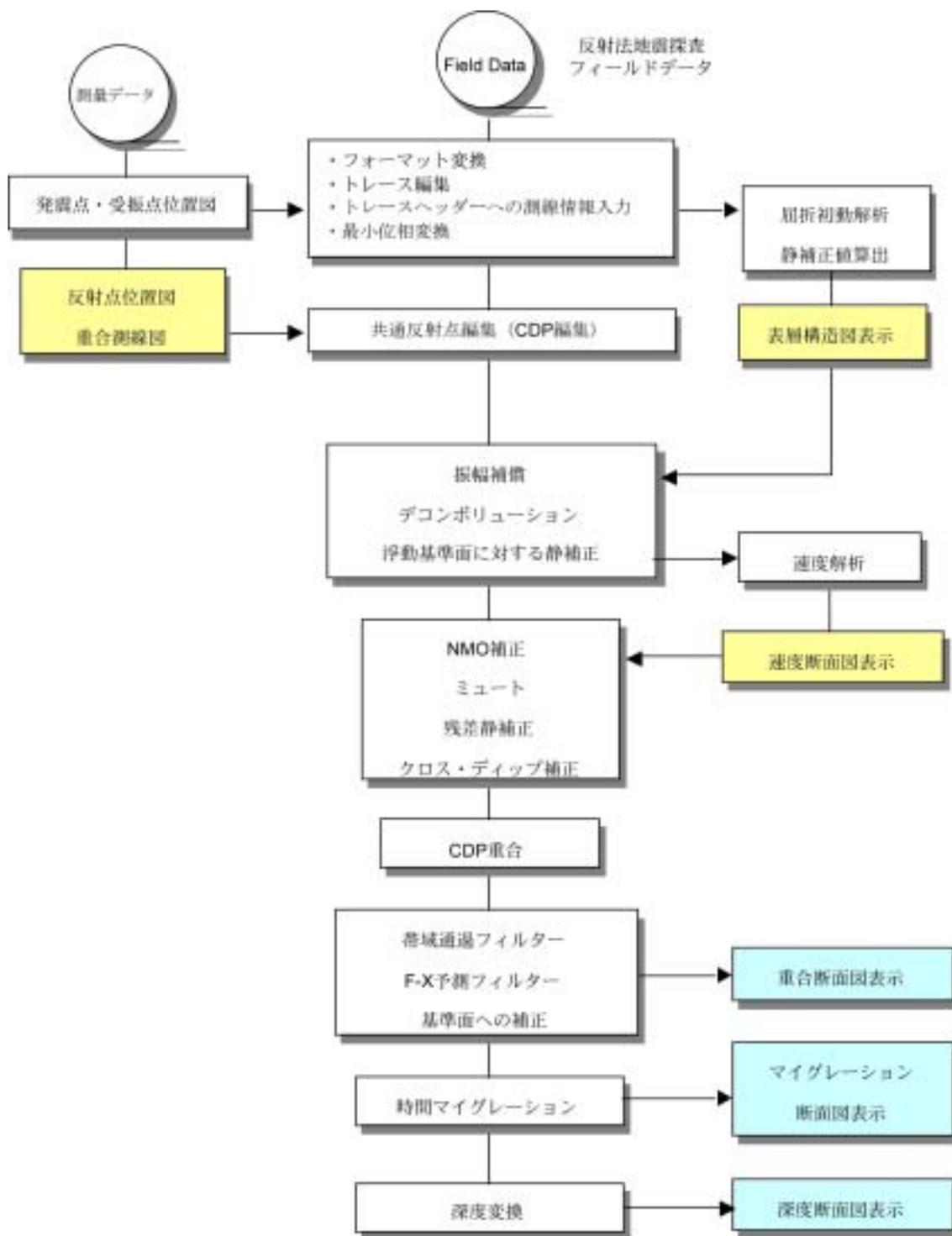


図 24 反射法探査データ処理フロー

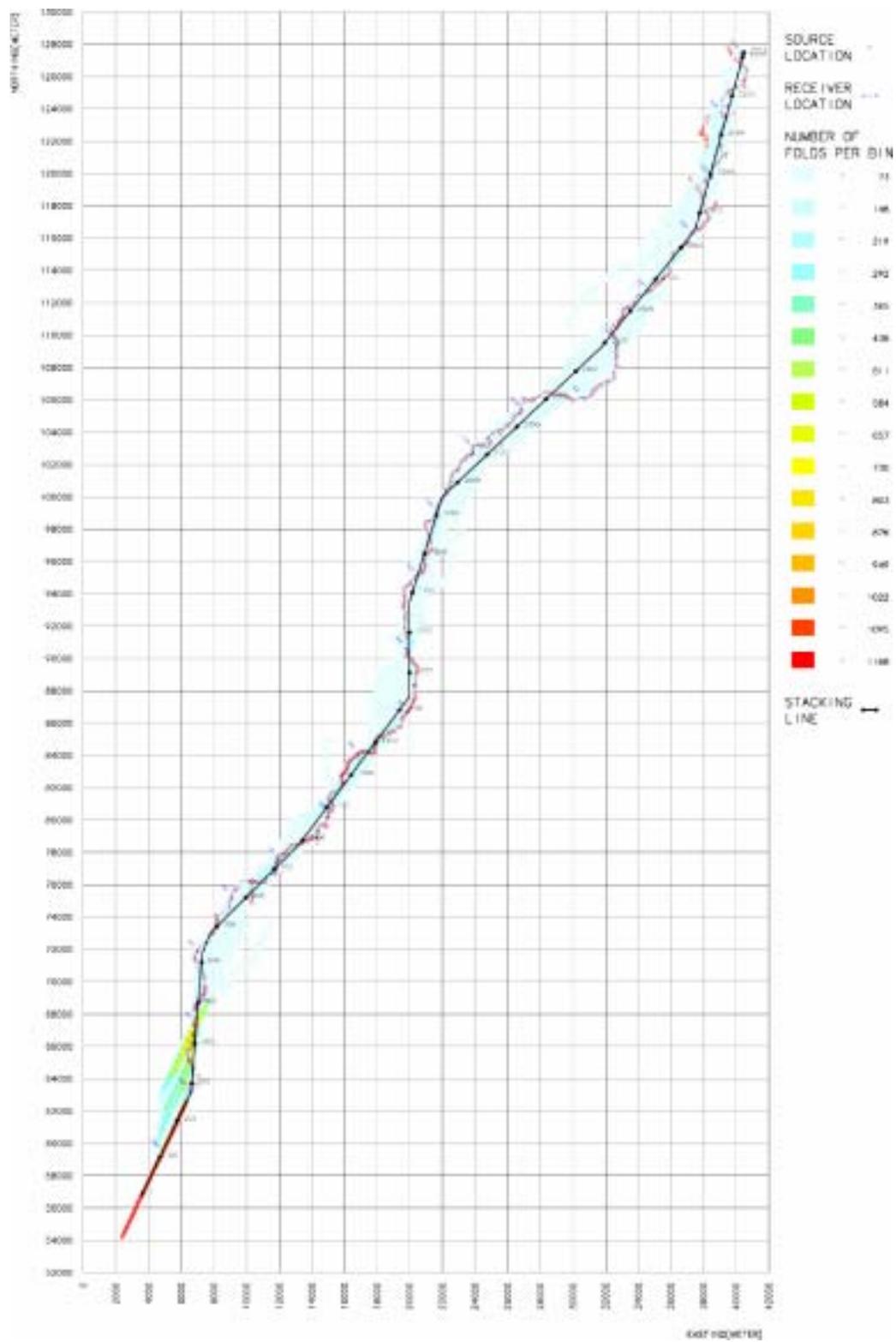


図 25 CDP 分布図  
(重合数はカラーで表示)

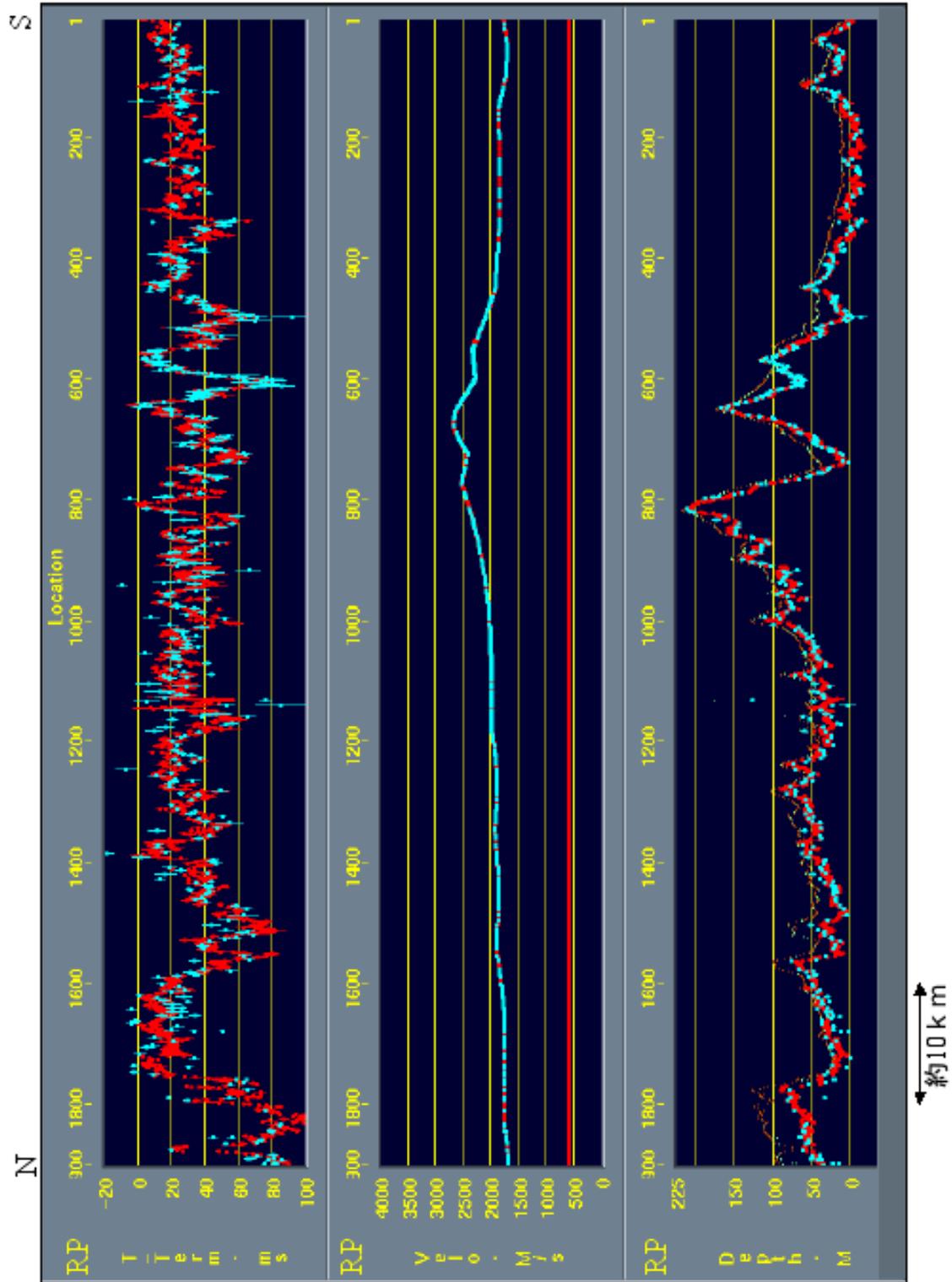


図 26 Time-Term 法により求められた表層速度構造  
 (上) Time-Term 値, (中) 表層仮定速度 500m/秒に対応した表層基底層速度、(下) 表層深度構造

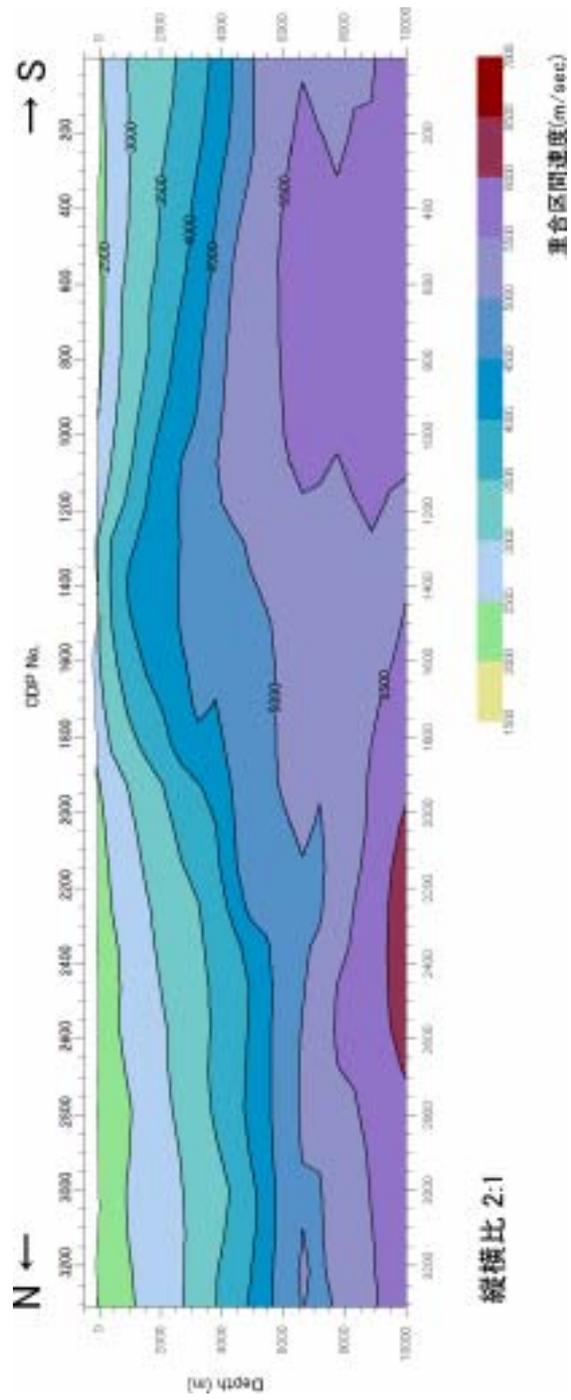


図 27 反射法速度解析により求められた重合速度断面

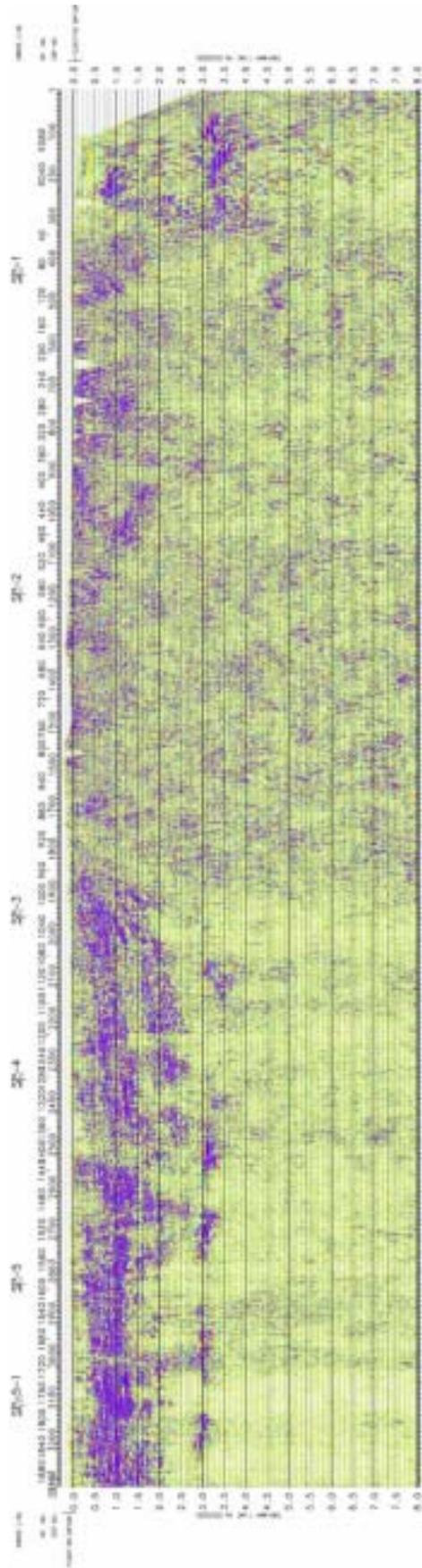


图 28 CMP 重合断面

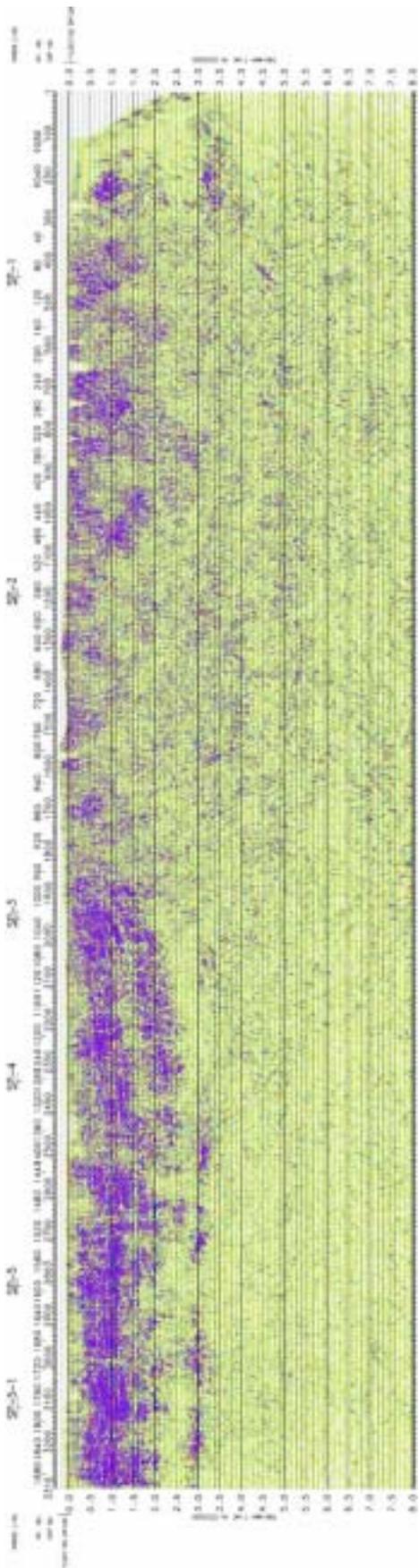


図 29 マイグレーション後重合時間断面

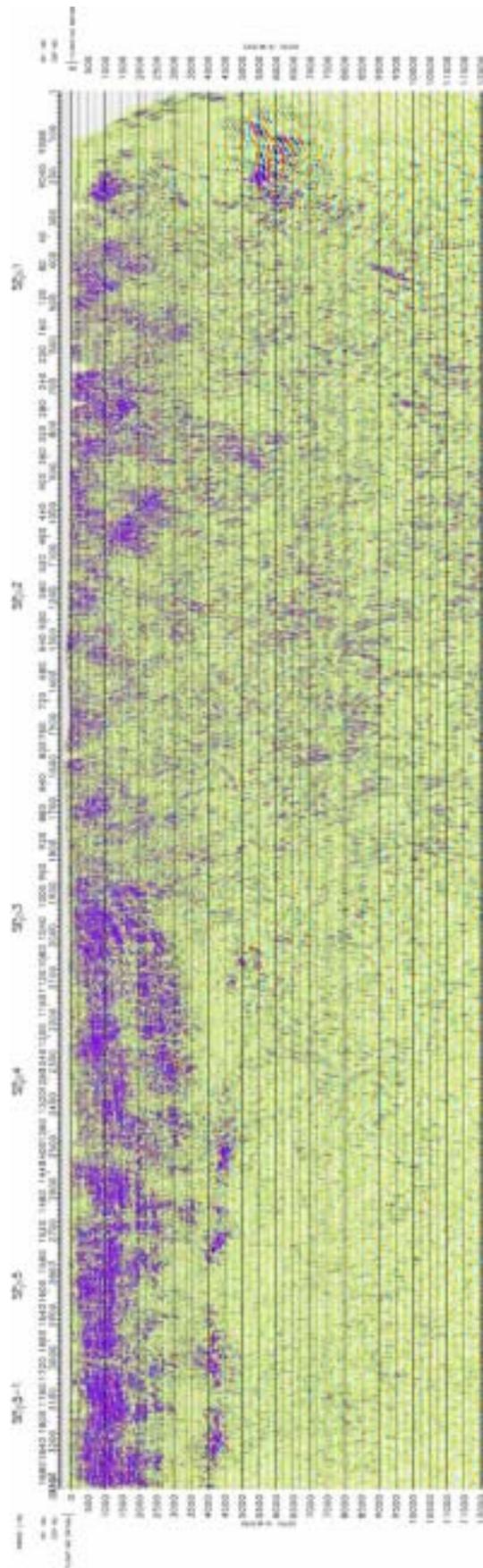


図 30 マイグレーション後深度変換断面

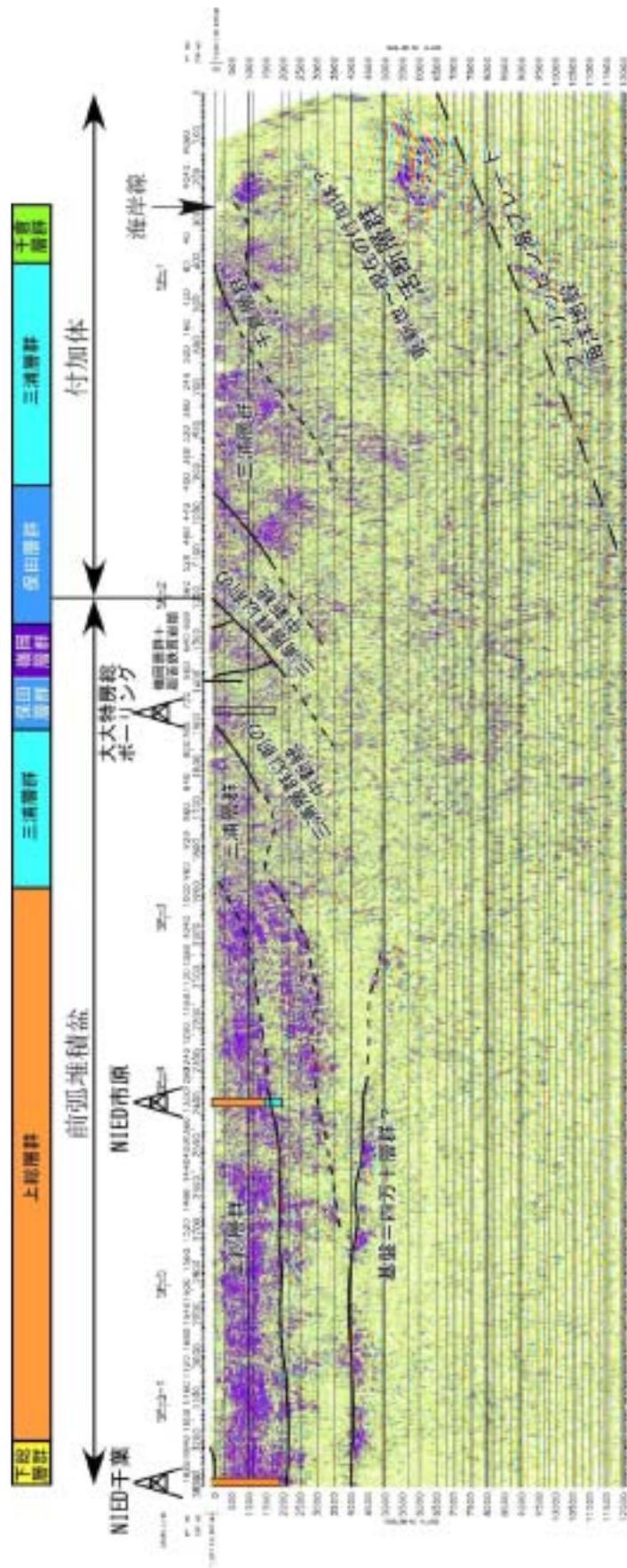


図 31 反射法地震探査解釈断面図



図 32 ダイナマイト発破点と受振点位置図 (実線は CMP 重合断面位置)



図 33 独立型レコーダーの観測点分布図 (CMP 重合測線以外のもの)



図 34 屈折・広角反射法機材(Texan 型レコーダー, Reftek 125, セットアップのため観測パラメーターを入力中)



図 35 屈折・広角反射法機材(DAT 型レコーダ)

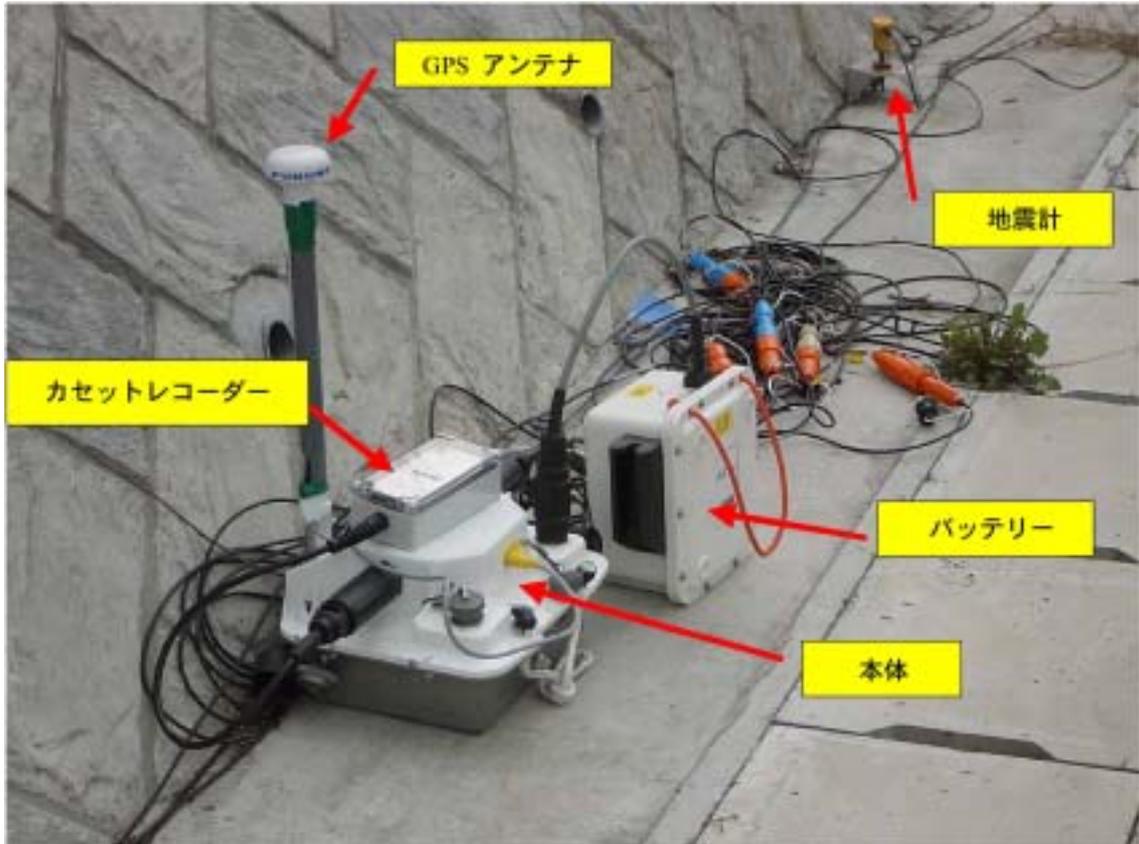


図 36 屈折・広角反射法機材  
(MS-2000, 6 チャンネル型、データはメモリーカードに格納される)



図 37 発破点 SP11 における発破点状況(発破前)



図 38 発破点 SP11 における発破点状況(発破後)

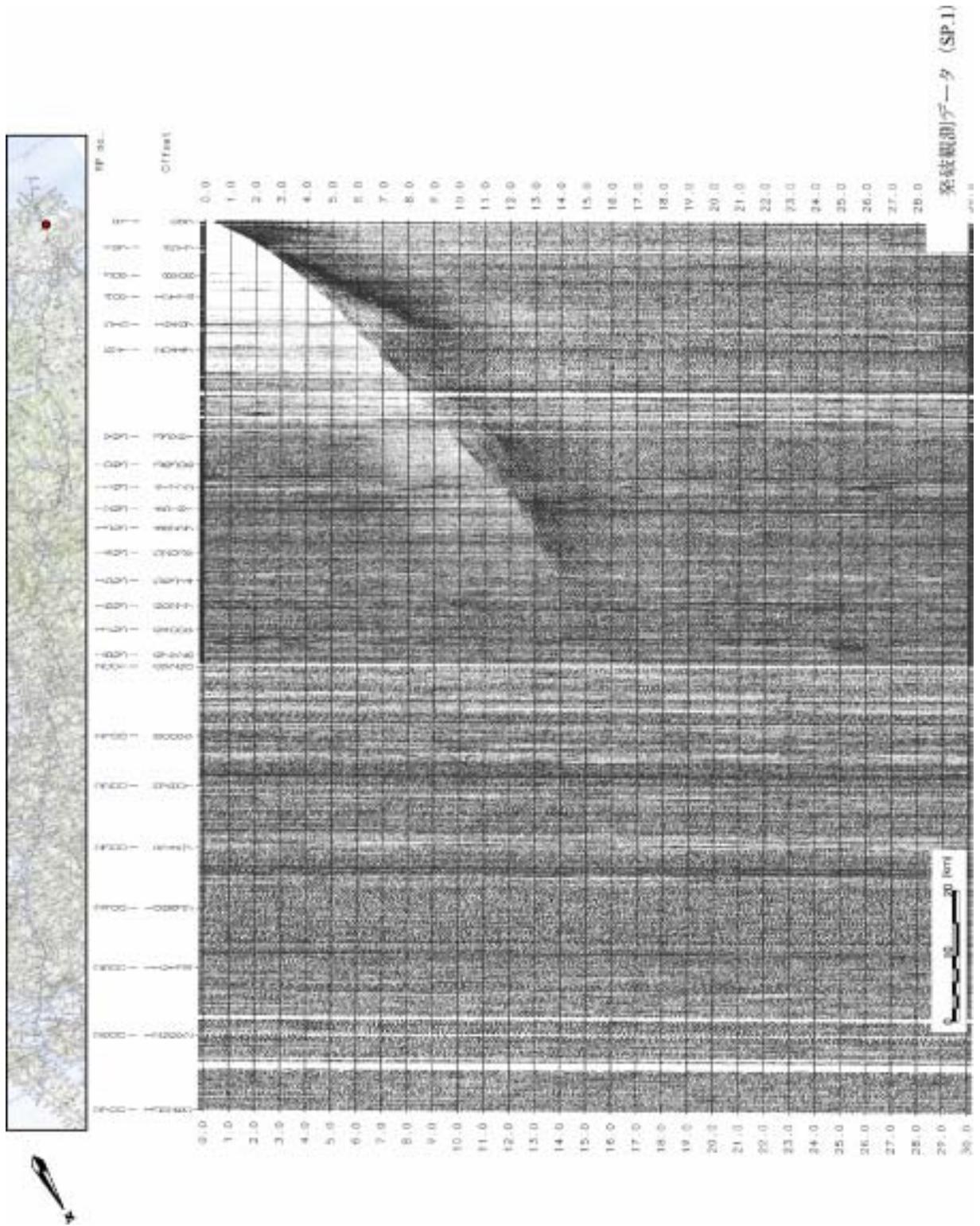


図 39 発破観測データ(SP1)

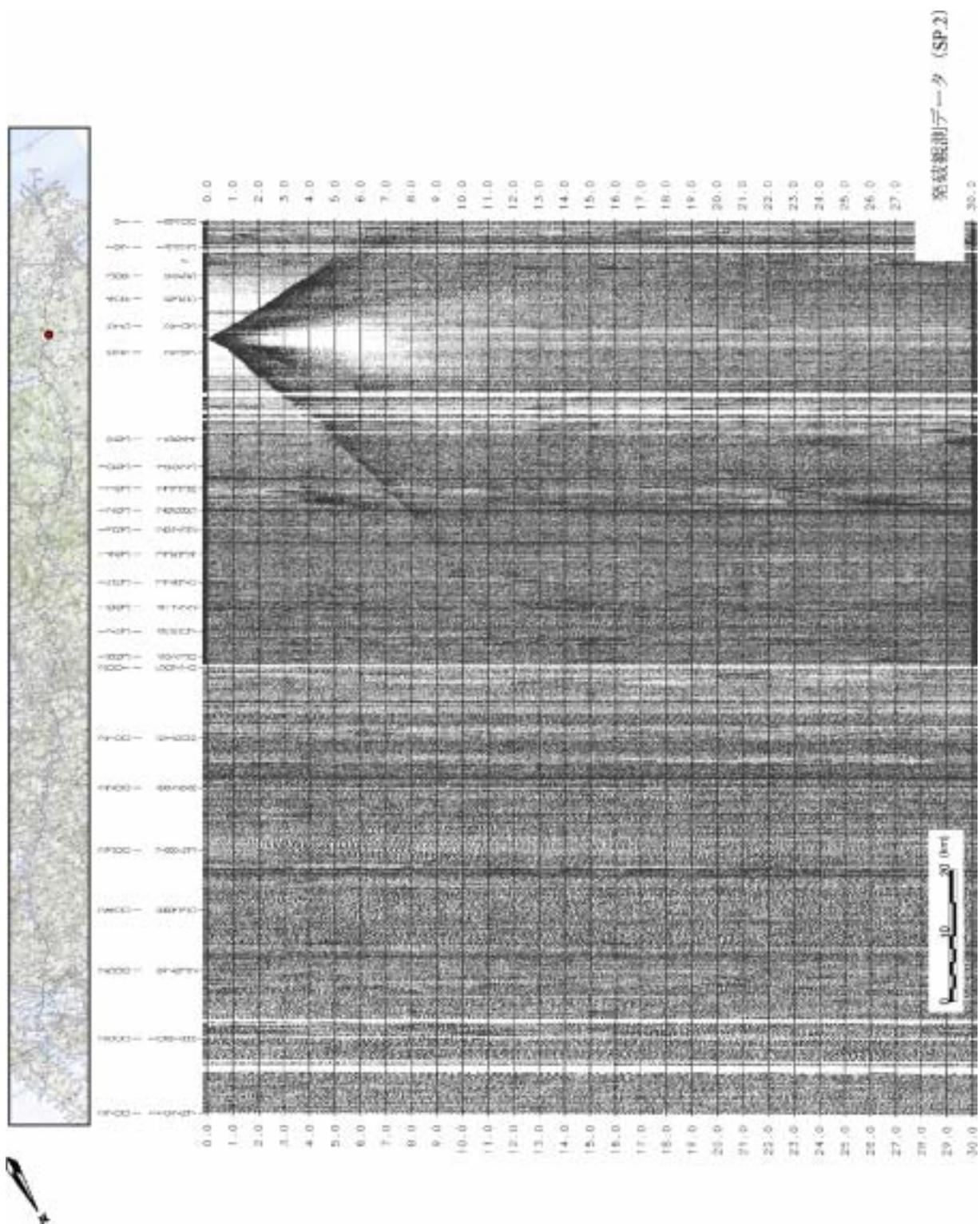


図 40 発破観測データ(SP2)